

中学校社会科 網走地方教育研修センター（北見市立光西中学校）

キーワード 「学習の個性化」を目指した題材の工夫

単元名

公民的分野 第5章 安心して豊かに暮らせる社会

1節 暮らしを支える社会保障

「身のまわりの社会保障制度」

第3学年

1 単元の目標

- ① 社会保障制度のもつ意義と役割について理解する。
- ② 国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備社会保障の充実など、財政として国や地方自治体が果たしている役割について考える。
- ③ 社会保障が果たす役割について、現代社会に見られる課題解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、理解している。	・対立と合意などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸課題に関して、国や地方自治体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・国民生活に社会保障が果たす役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

3 指導と評価の計画（全4時間）

時間	学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	身のまわりの社会保障制度 ① 社会保障制度にはどのようなものがあるのか、調べ学習を行う。 ② 調べた制度はどのようなときに必要になるのかを考える。	ICT機器を用いて提出	-	観察
2	互いに助け合う社会 ① 前時で調べた制度を「社会保険」「公的扶助」「社会福祉」「公衆衛生」に分類する。 ② 所得の再分配機能について知る。	ICT機器を用いて提出	-	-
3	社会保障の維持のために ① 社会保障制度にはどのような課題があるのか、人口ピラミッドの推移を参考	-	チャートをグーグルスライドで提出	振り返り

	に考える。 ② 自助(貯蓄など)・共助(民間の保険など)・公助(社会保障制度など)の観点から、どのように将来に備えるべきか、チャートを作成する。			
4 本 時	暮らしやすいまちづくりへ ① みんなが暮らしやすいまちの「みんな」とはどのような立場の人かを考える。 ② それぞれの立場に配慮した学校の案内板や設備を考える。			ノート 振り返り

4 本時案 (4 / 4)

(1) 本時の目標

自分の身の回りに潜む誰かの「暮らしにくさ」について考え、それぞれの立場に立って多角的にその対策を考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】

(2) 本時の展開

時	○学習活動 ・生徒の反応	
導 入	<p>○私たちのまちにはどのような人が暮らしているのか、考える。(個人→ペア→全体)</p> <p>・子ども、外国籍の人、お年寄り、障がいがある人…</p> <p>○学校を題材に、「誰もが暮らしやすい」社会について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時の課題 誰もが暮らしやすい社会とはどのような社会だろうか</p> </div>	<p>○ C 子どもが安心して、進んで取り組める授業</p> <p>・必ずペアで学習の方向性があるかを確認してから全体発表を行う。</p>
展 開	<p>○グループごとに担当する学校の場所の写真を選ぶ。</p> <p>・玄関・体育館・廊下・教室・音楽室</p> <p>○写真に対して、「誰のために」「どのように」改善すべきかを個人で考える。</p> <p>○ユニバーサルデザインやバリアフリーの観点から、学校の改善点を考えて、写真に書き込んでいく。その際、どのような人に配慮したかを明記する。</p> <p>・玄関の段差にスロープを付ける(足が不自由な人)</p> <p>・教室の表示に英語の表記をつける(外国籍の人)</p> <p>○グループごとに発表を行い、交流する。</p>	<p>○ A 子どもが「自分たちで学び取る」授業</p> <p>・身近な題材を用いること</p> <p>・写真資料など視覚的にわかりやすいものを用意すること</p> <p>☆「暮らしにくさ」について考え、それぞれの立場に立って多角的にその対策を考えることができる。【思考・判断・表現】</p> <p>◇班ごとにグループリングスライドを用いて共同編集を行う。</p> <p>◇直接写真に画像を貼り付けてもよい。</p> <p>◇テレビに投影</p>
終 末	○自分や友人がどのようなことを考えながら改善点を上げていったのかを想起させ、まとめを書く。	

5 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に係る授業改善のポイント 「学習の個性化」を目指した題材の工夫

社会科の授業を作る上で意識していることは、生徒の生活経験を授業に取り入れることです。本単元では、自分が将来生活する上で関わってくる社会保障制度という中学生には少し先の題材からスタートします。しかし、社会保障制度は自身が気付かない中で生活の中で機能しているという気づきを得られたときに、その学習が自分ごとになっていくと考えています。

同じ題材を扱っても、児童生徒の生活経験はそれぞれ異なるために、見え方が変わってくるでしょう。このように、学習者によって多様な学びになるよう「学習の個性化」を目指した題材選

びを意識しています。